

## 長良川悲恋、日本作曲家協会奨励賞受賞と歌碑建立

松本良彦・寺本安久・藤田悟郎

アルゼンチン出身日系 2 世歌手、大城バネサさんが歌う「長良川悲恋」(作詞 青山るみ、作曲 岡千秋) が日本作曲家協会奨励賞を受賞しました。授賞式は 2019 年 10 月 7 日(月)、東京都北区の「北とぴあ」で開催された日本作曲家協会音楽祭 2019 の中で行われました。また作詞の青山るみさんは、当協会の法人会員である国際クラブの理事長で、バネサさんが所属する芸能事務所 R サプライ株式会社を運営されています。

この受賞に先立ち、岐阜県郡上市高鷲町ひるがの高原「ひるがの分水嶺公園」に於いてこの楽曲の歌碑が 9 月 8 日(日) に建立されています。



左から、青山るみさん、大城バネサさん、岡千秋さん

歌詞の中に分水嶺、(長良川最源流の滝である) 夫婦滝が謳われていますが、まさにこの場所のことを指しています。この分水嶺からは北(日本海)へ流れる水流として庄川、南(太平洋)に流れる水流としては長良川に分かれています。

大城バネサさんは 2001 年 10 月にブエノスアイレスで開催された「NHK のど自慢」アルゼンチン大会に 19 歳で出場、門倉有希の持ち歌「女の漁歌」を歌い優勝、翌年 2002 年 3 月 NHK ホールで行われた「NHK のど自慢チャンピオン大会」にアルゼンチン代表として出場、同じ楽曲を歌い見事優勝、海外から初めてのグランドチャンピオンとなりました。すかさず、大手レコード会社からスカウトを受け 2003 年 8 月にプロ歌手デビューし今日に至っています。

大城バネサさんは作詞家で、国際クラブ理事長兼彼女の所属事務所社長でもある青山るみさんとともに日本全国を駆け巡り、草の根音楽活動を続けている努力家です。

まだ、アルゼンチン在住で、歌手デビューする以前から彼女の活動を支援してきている寺本安久常務理事、藤田五郎理事並びに松本の3名としても今回の受賞を糧に彼女の一層の活躍と飛躍への出来る限りの支援を引き続き行っていきたいと考えています。

当協会の皆様からも大城バネサさんの活動への一層の応援を頂ければ幸甚です。

(まつもと よしひこ・ふじた ごろう：当協会業務執行理事)

(てらもと やすひさ：当協会常務理事)

